

④ 進路委員会

令和5年10月6日

1 経過報告

8月7日(月) 三河校長会理事会・評議員会・懇談会	岡崎 NGH
19日(土) 私学展(～20日)	愛知県体育館
22日(火) 県立高校中高連絡会(西三北)	豊田市教職員会館
県立高校中高連絡会(西三南)	刈谷市社教センター
23日(水) 県立高校中高連絡会(西三東)	岡崎市総合学習センター
28日(月) 県立高校中高連絡会(東三河)	ライフポート豊橋
9月 4日(月) 愛知県名古屋市合同進路委員会④	県教育会館
5日(火) 県校長会理事会	県教育会館
7日(火) 愛知県進路指導中高連絡会①	県教育会館
9日(土) 専修学校展	ナディアパーク
12日(火) 私学合同説明会<名古屋地区①>	名古屋市立中央高等学校
13日(水) 私学合同説明会<名古屋地区②>	名古屋市立中央高等学校
14日(木) 私学合同説明会<名古屋地区③>	名古屋市立中央高等学校
15日(金) 三河進路委員会④	豊橋商工会議所
19日(火) 私学合同説明会<西三河地区①>	岡崎 NGH
20日(水) 私学合同説明会<西三河地区②>	岡崎 NGH
22日(金) 私学合同説明会<東三河地区>	ロワジールホテル豊橋
29日(金) 公私連絡会②	名古屋ガーデンパレス
10月3日(火) 県校長会理事会	県教育会館
4日(水) 専修学校高等課程合同説明会①	名古屋鯉城ホール
県教育予算学習会	県教育会館
6日(金) 専修学校高等課程合同説明会②	名古屋市公会堂
三河校長会理事会都市代表者会	竜美丘会館

2 連絡事項

(1) 第4回合同進路委員会より

○各種関連団体との懇談会及び連絡会、協議会等の報告

愛知県教育委員会(高等学校教育課・特別支援教育課)、愛知県私学協会、

愛知県専修学校各種学校連合会、愛知県労働局、公私連絡会・・・前回理事会にて報告済

○R6年度、私学合同説明会の日程について

・9月10日(火)～12日(木) 名古屋尾張地区私学合同説明会(名古屋市教育センター)

・9月17日(火)18日(水)西三河地区私学合同説明会(場所は調整中)24日(火)予備日
(場所は岡崎城西高校)

・9月20日(金)東三河地区私学合同説明会(ロワジールホテル豊橋)25日(水)予備日

○専修学校(高等課程)の推薦合格者の他校受験及び、一般受験について

・専修学校高等課程推薦合格者について:校長が推薦した以上、他校受験は控える。

- ・専修学校高等課程一般合格者で公立不合格者について：公立2次募集を受検する場合は、必ず該当校に連絡をすること。

○令和5年度公立高等学校の推薦選抜（ア推薦）について

- ・調査書と推薦書の記載方法・内容については、原則コロナ禍以前と同様の対応が原則
- ・コロナ関連にて大会や段審査、検定等参加できないが、参加した生徒と同等の力があると校長が認める場合、推薦も可能とする。

(2) 令和5年度愛知県進路指導中高連絡会(県公立高等学校長会との連絡会) 資料1 p3~9

○令和5年9月7日(木) 10:00 県教育会館 7階

参加者 高等学校側 会長 副会長 理事 合計 27 名

中学校側 県・市会長 県・市顧問 地域代表(名・尾・三) 3 名

進路委員会委員(3地区委員長と副委員長) 6 名 合計 13 名

○概要

- ・要望書の内容についていずれも前向きに検討し、対応していく。(会議録参照)
- ・一般受検の面接の集合時刻の生徒への連絡方法についてはHPでできる限り早く掲載する。
- ・学校外のクラブ活動もきちんと調査書、推薦書に明記してほしい。
- ・公立高校進学フェアの参加者数の概要

名古屋会場 6,859 人、豊橋会場 498 人、刈谷会場は 1,595 人、参加者には好評であった。

(3) 令和5年度 第2回 私学協会三河部との懇談会

○私学協会からの要望に対する回答(郡市町代表から中学校長へ配布)

資料2 p10~11

- ・国の就学支援金及び県の授業料等軽減補助金制度の周知
- ・三河の生徒は三河私学へ(特待も推薦・一般も)
- ・高校説明への生徒及び先生の参加、中学校の説明会への私学の参加
- ・指導上配慮を必要とする生徒の適切な情報提供

○R6年度入学者選抜 生徒募集数

三河私学合計 4413 名(-62 名)

※西三河 7 校: 2635 名(-26)、東三河 5 校: 1778 名(-36)

3 今後の予定

10月13日(金)	新しいタイプの定時制通信制設置検討部会	東大手庁舎
	公立高校入学者選抜実施要項説明会<名古屋>	名古屋市教育館
17日(火)	公立高校入学者選抜実施要項説明会<尾張>	ウィルあいち
	県立高等学校再編将来構想具体化検討委員会	KKR ホテル名古屋
18日(水)	公立高校入学者選抜実施要項説明会<三河>	西三河総合庁舎
11月6日(月)	愛知県名古屋市合同進路委員会⑤	県教育会館
10日(金)	三河校長会理事会郡市代表者会	竜美丘会館
14日(火)	三河進路委員会⑤	三河教育会館

令和5年度 愛知県進路指導中高連絡会

令和5年9月7日(木)

愛知県教育会館 第3・4会議室

司会：大石益美副会長

1 あいさつ

(1) 高等学校代表 公立高等学校長会会長 小林整次校長

- ・日頃から格別のご理解・ご協力をいただいていることに感謝している。昨年度は入試日程の変更、出願から合格発表までの変更、数多くの対応を中高で行うことができた。
- ・感染者対応もこまめにコミュニケーションをとって、無事に終えることができた。
- ・今年度はさらなる制度変更あり。QAも示された。10月中旬には第2回の説明会、11月には全県試行を行う状況。
- ・昨年度から、この会を11月から9月に変えて実施した。今後、中高で調整したい内容があれば、第2回を実施したい。
- ・進学フェアではたくさん来場いただきありがたい。
- ・県(公)立高校は2,000人を超える欠員を抱えている。県教委の支援も得ながら、校長会も授業改善、ICT教育の推進、生徒指導の改善、校則改定、キャリア教育など、新時代の教育に向けて急ピッチで改革を進めて、新たな魅力づくり・特色づくりに励んでいる。高校入試は高校教育の入口であって、将来の社会の担い手・作り手となっていくために必要とされる生徒の興味・関心・主体性等を選抜をする機会であり、中高の結節点・結び目である。未来を担う中学生が適切な進路選択を公正・適性に行うことができるよう努力していきたい。

(2) 小中学校代表 愛知県小中学校長会会長 都築孝明校長

- ・義務教育の学校に対し、ご理解・ご支援をいただき感謝している。5年度入試において、多々改正点があり、課題も多くみられたが、その都度丁寧な説明・対応に感謝申しあげたい。
- ・来年度に向けては、デジタル化、事務の軽減等、時代の流れから避けられないものと承知している。新しい方向性は分かるものの、初めてのことで、子ども・保護者が不安を抱えている。この連絡会がそうした不安を払拭できるものとなることを願っている。

名古屋市小中学校長会会長 鈴木健校長

- ・本校の進路希望調査の結果を見ると、昔と比べ公立は減った。また、かなり難しい選択をしている。今後、難しい指導をしていかないといけない。職員も3年一巡なので、分かっていないこともある。QAの徹底にも時間がかかりそうである。
- ・高等学校側の情報、中学校側の情報を交換しながら、「こうやっていくとよい」をこの会で進めていけるとよい。

2 自己紹介

(1) 公立高等学校長会役員、地区理事、専門学科理事等 27名

役 職	氏 名	勤 務 校	備 考
会 長	小林 整次	愛知県立旭丘高等学校	
副 会 長	小島 寿文	愛知県立明和高等学校	
	高井 俊直	愛知県立豊田西高等学校	
	大石 益美	愛知県立岡崎北高等学校	
	北島 淳	愛知県立名古屋特別支援学校	
	水野 基行	名古屋市立菊里高等学校	
理 事	加藤 文彦	愛知県立千種高等学校	名北地区
	川合 貴也	愛知県立昭和高等学校	名南地区
	岩田 政久	愛知県立春日井高等学校	尾東地区
	内木 泰志	名古屋市立桜台高等学校	名市地区
	福島 宏	愛知県立江南高等学校	尾北地区
	牧 謙治	愛知県立木曽川高等学校	尾中地区
	川手 文男	愛知県立津島高等学校	尾西地区
	蟹江 吉弘	愛知県立横須賀高等学校	知多地区
	白井 雅彦	愛知県立豊田北高等学校	西三北地区
	大野 正樹	愛知県立岡崎東高等学校	西三東地区
	鈴木 雅文	愛知県立西尾高等学校	西三南地区
	寺田 安孝	愛知県立時習館高等学校	東三南地区
	齋藤 育浩	愛知県立国府高等学校	東三北地区
	浅井 佳代	愛知県立丹羽高等学校	普通部会
	壁谷 光	愛知県立猿投農林高等学校	農業・水産部会
	山口 直人	愛知県立愛知総合工科高等学校	工業部会
	川口 宗泰	愛知県立愛知商業高等学校	商業部会
	馬場 茂	愛知県立大府高等学校	家庭・看護・福祉部会
	森藤 真言	愛知県立知立高等学校	総合部会
	林 直紀	愛知県立旭陵高等学校	定通部会
	小林 紀彦	愛知県立大府特別支援学校	特別支援部会

(2) 小中学校愛知県・名古屋市小中学校長会 13 名

役 職	氏 名	勤 務 先	備 考
会 長	都築 孝明	幸田町立坂崎小学校	愛知県会長
	鈴木 健	名古屋市立丸の内中学校	名古屋市長
顧 問	平井 克明	西尾市立西尾中学校	合同進路委員会顧問
	山村 伸人	名古屋市立富士中学校	合同進路委員会顧問
地域代表	藤本 一人	名古屋市立前津中学校	名古屋市副会長
	渡辺 孝雄	稲沢市立稲沢小学校	尾張会長
	平井 敦	田原市市立田原中学校	三河会長
進路委員	高橋 美行	名古屋市立田光中学校	合同進路委員会委員長
	石積 紀尚	豊橋市立牟呂中学校	合同進路委員会副委員長
	井手 春彦	春日井市立松原中学校	合同進路委員会副委員長
	福尾 圭介	名古屋市立久方中学校	名古屋進路委員会委員長
	加藤 智子	碧南市立中央中学校	三河進路委員会副委員長
	肩野 善文	一宮市立今伊勢中学校	尾張進路委員会副委員長

3 協 議 「令和 6 年度愛知県公立高等学校入学者選抜について」

(1) 小中学校より 要望及びその回答

1 学校案内について

- (1) 高等学校が実施する学校説明会や入試説明会は、受検できるすべての中学校へ平等に案内をしていただきますようお願いいたします。

⇒ 学校案内をどの中学校に出すかは、各高等学校の判断で決めています。案内を出さないところも情報を得ていただけるようHPで掲載するように努めていきます。地区の合同説明会に参加すれば情報等得ていただけると思います。

- (2) 学校案内は、新年度が始まりましたら可能な限り早く届けていただきますようお願いいたします。

⇒ 早く届けられるように引き続き準備に努めます。

2 学校見学会・体験入学について

- (1) 2 学期での開催を含め複数回の開催とともに、愛知県中学校総合体育大会及び予選会が集中する時期を避けていただくようお願いいたします。

⇒ 開催時期、回数について可能な限り対応していきます。

- (2) 申込期日に余裕をもたせ、希望者全員が参加できるようお願いします。また、参加者を絞り込むために、中学校を通して「人数制限」「先着順での受付」をすることがないようにお願いします。

⇒ 申込期日や参加者の選定は校長会で共有する。人数制限・先着順での受付をすることがないように努めていきたい。が、実習等を伴う学校においては、実習室の関係で人数制限を行うこともありうる。

- (3) 持ち物について、タブレットやスマホを持参する指示は行わないようにお願いします。

⇒ タブレット・スマホを持参する指示を行わないという要望があることを校長会で共有する。

- (4) Webによる個人申込の導入・拡大を進めていただきますようお願いします。中学校を通して紙の申込書を使用する場合は、「共通様式」を引き続き利用していただきますようお願いします。

⇒ Webによる個人申込みについては、中学校から要望があることを各校に伝えていく。「共通様式」については、高校側で引き続き周知を図ります。

- (5) 実施日時と申込締切日に加え、申込開始日についても、年度当初に県教委のHPに掲載していただき感謝申し上げます。日時の変更ができるだけないように実施計画の作成をお願いします。変更の場合は、速やかに関係する中学校に連絡していただきますようお願いします。

⇒ 混乱を招くことがないように、変更がある場合には速やかに中学校に連絡するように周知を図っていきます。

変更がある場合、県教委のHPには速やかに更新されています。

- (6) 実施日については、授業日（長期休業中以外の平日）に実施しないよう、中学校への教育活動への配慮をお願いします。また、愛知県の「会議・行事を行わない日」及び名古屋市の「学校閉庁日」を踏まえた計画をお願いします。

⇒ 実施日についての要望は校長会で共有する。複数回開催する学校においては、重なることもやむを得ないと考えます。

3 入試に関する事務等について

- (1) 推薦選抜について、実施要項には選抜基準をできる限り具体的に表現していただくとともに、体験入学、部活動の練習会、競技関係者などを通じた事前勧誘等のないようにお願いします。

⇒ 実施要項には推薦基準を分かりやすく指示するように、引き続き努めていく。事前協議・事前勧誘と受け取られるような行為をしないよう各学校に伝えます。

- (2) 特色選抜について、求める生徒像を明確にしてくださいとともに、それに適した内容で入学検査や面接を実施していただくなど、推薦選抜や一般選抜との違いが生徒・保護者や中学校にとって明確になるようお願いします。

⇒ 実施要項には求める生徒像を分かりやすく指示するよう、引き続き努めていきます。面接の質問については選抜の趣旨に合わせた適切な質問となるように努めていきます。

- (3) 面接及び特別検査日の指定集合時刻の通知を、可能な限り早い時期に明示いただきますようお願いします。

⇒ 面接当日の集合時刻については、受付の締切日の翌日までに各校のWebページに

掲載をして伝えていきます。志願者数が多く複数の集合時刻を設定する学校については全ての集合時刻を伝え、その後、受検番号に対応した集合時刻をWebページの方へ掲載します。

- (4) 合格者発表後の高等学校への登校日時を、地区ごとに集約いただき、ありがとうございます。今後も取りまとめとともに、可能な限り早めにお知らせいただきますようお願いいたします。また、登校日は授業日（卒業式前の平日）に実施しないよう、中学校の教育活動への配慮をお願いします。

⇒ HPを利用するなどして、できる限り早い時期に伝えられるように努めます。合格者登校日を卒業式前の平日には実施しません。

- (5) Web出願導入に伴い、入学者選抜結果等の一括配布・受領事務がなくなります。各地区での一括受領につきまして、長い間ご協力をいただき感謝申し上げます。Web出願導入後も、入試事務が円滑に行われるよう、引き続きご配慮並びにご協力をお願いします。

⇒ 入試事務が円滑に行われるよう、引き続き努めていきます。

4 受検上の配慮について

- (1) 障害等のある生徒の受検上の配慮について、これまで同様、該当の中学校と十分な情報交換を行いながら進めていただきますようお願いいたします。

⇒ これまで同様、中高の十分な情報交換を行って進めていきたい。設備面を含めて特別な配慮が必要な場合や配慮の内容について保護者からの申し出があった際には、できるだけ早く出願校にご相談いただきたい

- (2) 新型コロナウイルス感染症等にかかる追検査の対象者が出た場合や、当日の別室受検等、生徒の状況に応じた柔軟な対応をお願いします。

⇒ 追検査や別室受検については、教育委員会の指示、実施要項に基づき、柔軟に対応していきます。

- (3) 今年度も引き続き、入試当日朝の中学校から高校への連絡体制を確認できるとありがたいです。

⇒ 朝7:30に留守電を解除し、連絡が受けられる体制を整えていきたい。

【質問】

○ 説明会について

《高校》体験入学・説明会の日程で「県と市の休みを避けて」「7月中は避けて」「高校の8月終わりは始業式が始まり」となると実施できる日にちがほとんどない。

確認だが、全部メールのやり取りで中学校を介さず申込ができる場合でも、「避ける日」を踏まえないといけないか？

《中学》「避ける日」に実施されたのは「教員対象の説明会」。出張が命令できない日であった。県と市の閉庁日等が違うという認識がなかったのが原因。それを認識して実施日を決めていただくと助かるという意味です。

4 その他

○ 推薦書・調査書の校外活動の記載について

《高校》学校外のクラブ活動が調査書に記載されていないことがある。クラブ名・大会名等の具体が記載されているとありがたい。

《中学》推薦入試だけでなく、一般入試も記載と言うことか？

《高校》分かれば記載されていると様々な形で調査で活用できる。

《中学》分かる範囲になってしまう。推薦の子はアピールしたいことを書いてくれば分かる。

《高校》推薦で同じクラブチームの子で、片方は書いてあり、片方は書いてない例があった。評定も同じで合否が分かれた。

《中学》中学では、子どもの自己申告の形で把握。一般の子で自己申告がないものは把握しきれていない。そこは理解いただければ。

《高校》推薦入試で調査書に書いていないことを面接で言う場合があるので、きちんとやっていただけるとありがたい。一般入試も書いてあることが合否に関わることもあるので、分かる範囲で。

《中学》(子どもが) どの推薦基準に合致するかで校内推薦委員会にかけてくる。校外のことで、申告した子としていなかった子で合否に影響があると聞くと、責任が取れない。

《高校》実績があるのに書かれていない例があった。書かれていないものは評価できないということで不合格になった。あとで聞いた話ですごい実績の選手であり、書かれていたら合格だったという例があった。

《高校》校外の活動について、生徒から吸い上げるシステムにばらつきがあった例がある。それが、同じクラブチームでということだろう。

《中学》特色については、要項に記載されている実績があれば調査書に書くでいいか。

《高校》要項に記載があるものであれば。

○ 推薦選抜と特色選抜の違いについて

《高校》推薦選抜の子より特色選抜の子の評定が低いという話があったが、それはあり得る話。

《高校》制度してはあり得るが、先ほどの話は推薦と特色の違いがよく分からない場合の話だと理解した。

《中学》制度上起こっても仕方のない話。ただ、現場では葛藤があるのは事実。ただ、推薦と特色の面接で同じ内容が聞かれている場合はどうやって決めているのか？となる。

《中学》校内の推薦委員会で評定が足らずダメになった子が特色を受けて合格し、推薦委員会を通った子が落ちるという逆転現象は困る。推薦基準の評定がない子は十分な高校生活が難しいから定めているのでは？中学としては進路指導がしにくい。

《高校》想像ですが、定員が埋まらない状況で特色をやると逆転が生まれてしまうことがあるのではないかな。

《中学》そうであるならば、推薦の評定基準を撤廃していただきたい。評定基準は十分な高校生活を送るためにあると考える。

《高校》そういった最低ラインを示す学校もあれば、推薦には高いものを求める学校もある。推薦選抜と特色選抜はまったく選抜方法が違う。特色選抜では推薦選抜と全く違う基準を設けていることが多い。推薦の評定基準がなかったとしてもめちゃくちゃ元気だから特色で合格はあり得る。

《中学》推薦選抜の基準の中に、こういう子を取りたいという特色選抜の基準を入れて、推薦の評定基準を無くすのはどうか。

《高校》それは難しい。推薦と特色は全く別。たとえば理数科の特色では、どれだけ評定が低くても一つのことを研究し続けた人であれば是非取りたい。

《中学》スクールポリシーに合わせて選ぶ特色ができたのはとてもいいと思う。選抜方法に問題を感じる。実際やってみて結果はどうか。

《高校》理数科では、「昆虫が好きでクワガタの同性雌雄の研究をしている」という生徒は入学して、理数科の中心となっている。大変いい結果。

《中学》それは面接で分かったのか。

《高校》プレゼンテーション。

《高校》SSHでプレゼンテーションで特色選抜を実施した。特色選抜の趣旨に沿った選抜ができたと感じる。

《高校》理数コースでの特色選抜を実施。特色のある子を選抜しやすい。意欲あり前向き。評定の部分では今後の課題があるかなという認識。

《高校》総合ビジネス科で実施。基礎学力テストと面接。基礎学力にやや難のある生徒はいる。面接内容の評価では、答える内容の濃さが評定に比例している感が強い。推薦基準より評定が高い生徒も受けていたが、「学びたい意欲を評価する」特色選抜を選び、意識の高い面接の受け答えがあった。入学してからも学科の中心として活躍している。

《中学》プレゼン・作文・基礎学力・実技＋面接で十分か。自分は高校にもっと裁量（英語科なら英語での面接など）を与えてもいい気がするが、高校としてはどうか。

《高校》高校側としては、スクールポリシーに合った選抜ができている。が、まだ始まったばかり。これから。

令和 5 年 9 月 1 5 日

愛知県私学協会三河支部長 寺部 暁 様

三河小中学校長会 会 長 平井 敦
三河進路委員会 委員長 石積 紀尚

「愛知県私学協会三河支部から中学校に対する要望」に対する回答

三河校長会進路指導委員会より、中学校教育及び進路指導の充実のため、中学校卒業生の私立高等学校への進学についての要望をさせていただいております。その一つ一つに対して、真摯に受け止めていただき、関係校への周知等適切な対応をしていただくと同時に丁寧にご回答いただいておりますことに感謝申し上げます。

このたび一層の連携を深めるため、中学校に対しても愛知県私学協会三河支部からご要望をいただきました。ご要望の趣旨を十分に理解し、確認と検討をさせていただいた結果、以下のようにご回答させていただくと同時に各中学校長に周知させていただきます。

＜協会からの改善要望と質問に対する回答＞

- (1) 国の就学支援金と県の授業料等軽減補助金を合わせた額は年々充実し、2023 年度は甲【年収 720 万円未満程度】は月額 35,700 円、乙【年収 840 万円未満程度】は月額 17,900 円、その他【年収 910 万円未満程度】は月額 9,900 円となりました。また、入学納付金補助金は、甲は 200,000 円、乙は 100,000 円となりました。さらに、非課税の世帯においては授業料以外の教育費負担を軽減する為の奨学給付金制度があります。生徒及び保護者への周知徹底をお願い申し上げます。

高校進学にかかる費用については、保護者の大きな関心事です。国の就学支援金と県の授業料等軽減補助金、教育費負担を軽減するための奨学給付金制度等の周知徹底につきましては、私学協会からの資料をすべての家庭に配付するとともに、進路説明会や懇談会等の場面で保護者及び生徒に対して確実に説明を行うように各中学校に周知徹底します。

- (2) 公私比率 2 対 1 に基づき、毎年度県教育委員会と協議して各私立高校の募集数が決められています。この各私立高校の募集数が実現できますように、三河地区の私立高校の特色と実績を生徒及び保護者にご紹介していただき、三河地区の生徒はできるだけ三河地区の私立高校へと推薦していただきますようお願い申し上げます。

通学の利便性等に加え、三河地区の私立高等学校は素晴らしい特色と実績があります。これらを紹介するためにパンフレットの配付や高校説明会、学級活動等の場面で生徒及び保護者に紹介するよう周知します。

- (3) 私立高校主催の学校見学会・体験入学等の開催案内につきまして、生徒及び保護者への周知徹底をお願い申し上げます。

生徒及び保護者には、進学や受験の希望がある高校には必ず学校見学会や体験入学等に参加するように指導しています。学校見学会・体験入学一覧表を配付し、進路指導だより等を使って情報提供をします。ご要望を踏まえ各郡市の進路指導委員会においてもいっそうの周知に取り組むよう働きかけていきます。

- (4) 三河地区の私立高校の文化とスポーツの振興のために、優秀な生徒を三河地区の私立高校へ推薦していただきますようお願い申し上げます。

三河地区の子は、地元の三河で活躍し、さらに成長してほしいと願っています。私学協会三河支部の要望を各中学校へも周知します。そのうえで、生徒及び保護者の希望を尊重しながら、生徒にとってよりよい進路選択ができるように丁寧に相談を進め、三河支部の高校と緊密に連携を図るよう各中学校へ周知します。

- (5) 私立高校主催の教育連絡会・体験入学・学校見学会開催の折には、中学校の先生方につきましても是非ご来校いただきますようお願い申し上げます。

経験の浅い教員を中心に、教育連絡会・体験入学・学校見学会にできるだけ参加するように周知します。ただ、授業や部活動の指導や働き方改革の課題等があり、校長が休日の参加を指示することが難しい現状がありますことをご承知おきください。

- (6) 生徒及び保護者が公立高校の入試制度をより一層正確に理解していただけるように、「公立高等学校辞退の自由について」という項目を公立高校入試制度説明資料の中に設けてくださるようお願い申し上げます。

「公立高等学校辞退の自由について」は、進路選択は受験生にあることを改めて確認し、周知を図ります。今年度の入学者選抜でも、私立一般合格後に公立受検を辞退した生徒や公立合格後に辞退した生徒もおります。中学校現場では、生徒・保護者の希望を最優先に尊重し進路指導を行っております。これまでも、公立・私立等を合わせた中で入試日程と進学希望順位を確認し、その希望順位に応じた受験や進学先の選択をするように指導してまいります。

- (7) 中学校主催の説明会につきまして、すべての中学校で開催していただけるようお願い申し上げます。

中学校主催の説明会に、私立高校が参加について強い要望のあることは、三河進路委員会を通して、すべての中学校に周知します。多くの中学校が、私立高校の先生もお招きして、高等学校等説明会を開催していると認識しています。1校の説明時間や各校の進学実績等の事情によりすべての三河地区の私立高校に参加をお願いできない場合もありますことをご承知おきください。

- (8) 指導上配慮を必要とする生徒については、入学までにその旨をご連絡くださるようお願い申し上げます。

進学が決まった生徒が安心して入学後の生活を送るためにも、生徒の詳細な情報や、必要な配慮事項、支援方法について、中学校から高校への伝達は重要と考えます。遅くとも進学が決定した際には、中学校長から高校の校長へ直接その内容について連絡することに加え、中学校における状況や実際の支援等についての情報を提供できるよう各中学校長への周知・徹底に努めます。

また、受験当日についても配慮が必要な生徒の状況に関しては、出願を終えてからではなく受験の意志が固まった段階でできるだけ相談や報告をするよう周知いたします。